

都賀地域包括支援センター 担当

日 時： 令和7年4月15日（火）午後2時～2時20分

会 場： 栃木市役所

事例数： 1ケース（令和6年10月15日検討した事例の振り返り）

参加者数： 9名

事例提供者1名、助言者6名、包括職員2名

脳卒中や糖尿病治療中の80歳女性

〈目標〉1日:転倒を予防し、安全に歩行できる。

1年:今行っている家事が継続して出来ている。

利用サービス:通所型サービス、介護予防福祉用具貸与、予防住宅改修

《前回会議での支援策》

支援方針:下肢筋力の強化と歩行状態の安定を図るため体操や運動、また社会交流の機会を提供する。

日常での体調管理により症状の悪化を防ぎ、心身ともに活動的に毎日を過ごしていけるように支援する。

助言内容

- ①ブロック注射は局所のため身体への影響は少ないが、回数や内服薬によっては出血や感染のリスクもあるため、長引く場合は主治医と良く相談し、手術等も検討していけると良い。
- ②義歯を外すと口腔バランスが崩れ頬を噛んだり他の歯に負担がかかるため、義歯はなるべく使用すると良い。歯科医に義歯の不具合を伝えた方が良い。
- ③糖尿病であると唾液分泌が低下し粘膜を痛めやすいので、唾液腺マッサージやあいうべ体操をすると良い。
- ④処方薬は先発品を希望すると費用が高くなるため、薬局と相談出来ると良い。また、内服回数は医師と相談し、自己判断せずに指示通りに飲むと良い。
- ⑤腰痛軽減のため、なるべく膝を使う様な工夫をしながら家事を続けていけると良い。
- ⑥昼食をしっかり食べて間食を減らしていけると良い。砂糖不使用や大豆たんぱくを活用するのも良い。
- ⑦交流の場として、自治会の祭りや地区社協のサロンで役割を持ってもらいながら参加できると良い。

《支援結果・状況》

- ①未達成:主治医に相談は出来ていない。
- ②達成:歯科医に不具合を伝えて義歯の調整をしてもらい、義歯を付けて食べられるようになった。
- ③達成:唾液腺マッサージやあいうべ体操を行うことができています。
- ④達成:先発品の薬を服用していることは了承済み。内服している薬については、医師に相談し他の薬を処方された。
- ⑤達成:生活動作に注意して家事を行っている。
- ⑥達成:間食を減らして品数を多く食べるよう心掛けています。
- ⑦未達成:サロンは敷居が高く、なかなか参加する気持ちになれない。